

静岡県の「やさしい日本語」の取組

静岡県地域外交局 多文化共生課
主査 平田 春奈



静岡県の「やさしい日本語」普及のあゆみ①



静岡県の「やさしい日本語」普及のあゆみ②

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
外国人 対象	・多文化共生					
	・防災					
	・教職員					
	・税金・水道・住宅					
	・児童相談・女性相談					
	・警察					
	・新規採用職員研修					
						・福祉のための講座
外国人 対象	・一般県民					
	・観光（接客・おもてなし）					
				・日本郵政との協働	・富士登山関係者 ・ <u>eラーニング</u>	・ <u>若者フォーラム</u>

福祉のためのやさしい日本語講座

外国人にも！高齢者にも！障害者にも！

福祉のための 「やさしい日本語」講座

静岡県と東京都が取り組む誰にとっても
わかりやすい情報発信の方法とは？

- ・福祉分野の「やさしい日本語」
- ・静岡県×東京都トーク

講師：
東京都生活文化スポーツ局
都民生活部
村田 陽次氏

2024年
2月9日(金)

- ・午後1時30分-午後3時30分
- ・オンライン開催(Zoom)
- ・参加費無料



お問い合わせ | 静岡県多文化共生課
TEL 054-221-2178
MAIL tabunka@pref.shizuoka.jp

お申込みは
こちらから



やさしい日本語を、外国人のためだけではない
「言葉のユニバーサルデザイン」にしたい！

やさしい日本語は、「外国人だけでなく、障害者、高齢者、子どもを含む多様な人々にやさしいコミュニケーションツール」である、という立場から研修を企画。東京都の事例をもとに、福祉のための講座を開催した。

→今まで研修に参加したことのない新たな層が参加。
(包括支援センター、社会福祉協議会、障害福祉関係等)

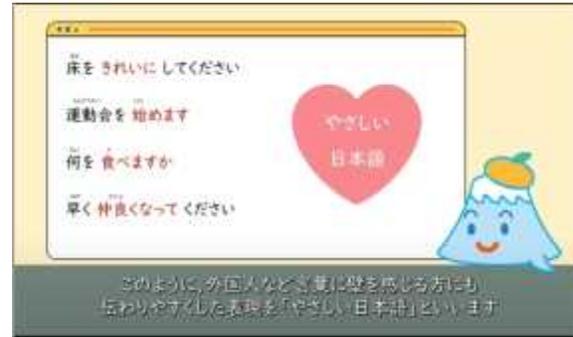


eラーニングでいつでもどこでも学べる環境

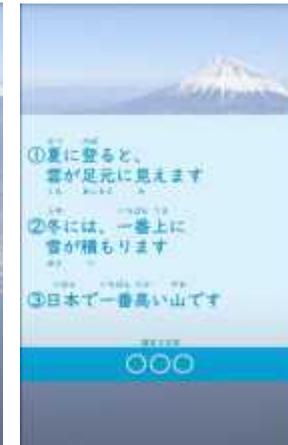
イントロダクション



実践編



クイズ



<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/1049844/1002474/1060662.html>



多文化共生わかものフォーラムinしずおか

「やさしい日本語」が
できること

「やさしい日本語」は難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

「やさしい日本語」専攻型キャリアセンター
静岡国に在り
やさし日本士

県内外で「やさしい日本語」に取り組む大学生の事例発表や、セッションを通して、「多文化共生」「やさしい日本語」について一緒に考えてみませんか？
多くのみなさんの参加をお待ちしています。

2024年 **7/7** 日
14:00~16:45

参加費 **無料**

会場
静岡県コンベンションアーツセンター
「グランシップ」6階交流ホール
[静岡県駿河区東静岡2丁目1-1]

参加対象者
どなたでも参加いただけます。なお、第2部のセッションはおおむね30歳以下で行います。

申込方法
URLまたはQRコード(電子申込サービス)より
お申込みください
2024年6月28日(金)
URL: https://applica-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=12088

主催: 静岡県 静岡県 多文化共生課 mail: tabunka@pref.shizuoka.lg.jp TEL: 054-221-3316

多文化共生わかものフォーラム inしずおか
「やさしい日本語」ができること プログラム

第1部 ▶ 静岡県の取組と課題 ◯ 静岡県多文化共生課

▶ 事例発表 ◯ 明治大学 山脇ゼミ
◯ 順天堂大学保健看護学部「やさしい日本語部」
◯ 日本語サロンいろいろ

▶ パネルトーク テーマ:「やさしい日本語」が創る多文化共生社会
ファシリテーター
◯ 静岡県多文化共生課 平田 孝宗 さん
パネリスト
◯ 明治大学国際日本語部 山脇 啓造 さん
◯ 一般社団法人やさしい日本語普及連絡会 吉岡 章 さん

***** 休憩 *****

第2部 ▶ 「やさしい日本語」参加型セッション みんなで考えよう!
「わたしたちができること」

▶ 講評 ◯ 明治大学国際日本語部 山脇 啓造 さん
◯ 一般社団法人やさしい日本語普及連絡会 吉岡 章 さん

事例発表団体紹介

明治大学山脇ゼミ
キャンパスのある東京都 中野区を拠点に行政や企業、学校と連携しながら、やさしい日本語ワークショップなどに取り組んでいます。

順天堂大学保健看護学部「やさしい日本語部」
2022年に活動開始。地域高齢者への認知や軽微の疾病を通して「やさしい日本語」の役割の普及活動に取り組んでいます。

日本語サロンいろいろ
2020年のコロナ禍に生まれるオンラインでの日本語おしゃべりのコミュニティ。国内外の種々の活動が展開し、つながる。

パネリスト紹介

山脇 啓造 さん
明治大学国際日本語部
明治大学国際日本語部教授(移民政策・多文化共生研究)、国のやさしい日本語推進本部委員等、群馬県男女共同参画の多文化共生推進協議会会長を兼任。

吉岡 章 さん
一般社団法人やさしい日本語普及連絡会 代表理事
2016年からやさしい日本語普及に協力中。やさしい日本語マップ「やさしい」セグメント、動画映画「第三国言葉」を明治大学と連携してプロデュース。



テーマ:「やさしい日本語」の可能性 わたしたちができること

グループ	A
1	自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できるような場面は？ <ul style="list-style-type: none"> ● バイト先の海外の方への接客(外国人観光客にパン/豆でコーヒーのサービスを紹介した際に) ● 知識人の日本人から、その分野に精通していない日本人へ ● 外国の方にゴミの出し方をわかりやすく伝える(ゴミ袋に記号式だから理解が生まれる。現在はルビ付きの案内) ● 小さい子に対して医療用語を簡単にする(「とんじく」等の、本人が加えておくべき用語を簡単に) ● 障子屋の職人に対して「いろいろ」活動のSDGsについては、専門用語が多いため、簡単な説明が必要)
2	明日からわたしたちができることは？ ~広めるためにできること~ <ul style="list-style-type: none"> ● 身近な人にもまず周知 ● 興味がある人に周知(多文化共生に興味がある学部でも、やさしい日本語を知らない人は多い) ● 学校も巻き込んで周知 一任していく工夫~ <ul style="list-style-type: none"> ● 対象の高齢の授業を講師し、留学生と話す(英語を話すより、日本語を練習したい留学生は多い) ● 町で見かけた物をやさしく言い換える方法を日々検索(努力を毎日ペースで行う)
3	「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会 ~やさしい日本語を広げる意義~ <ul style="list-style-type: none"> ● 言語によって異文化と分かれ合う(日本は海外の協力なしでは成り立たない) ● 日本人以外と関わりが必要(製造業等では外国人労働者が多く、孤立している) ~めざしたい社会~ <ul style="list-style-type: none"> ● グローバル化の中でも世代間を超えた繋がりがある日本 ● 社会的弱者にやさしい世界

やさしい日本語普及のためのツール

●動画：話そう、やさしい日本語



●静岡県やさしい日本語ロゴマーク



●手引き



●LINEスタンプ



●普及グッズ

